

患者さんへ

疫学研究「救命センターにおける高齢者外傷とサルコペニアの関連性に関する後ろ向き研究」

についての説明文書

1. この疫学研究の目的

栄養管理の重要性が増してきている現在の集中治療領域で、サルコペニア（高齢化に伴う筋肉量の減少）が注目をあびています。世界中のガイドラインが推奨しているようにタンパク質の摂取と筋肉量が重要であり、予定手術周術期の合併症や術後の活動状況との関連性も述べられています。しかし外傷患者の予後とサルコペニアの関連性を述べた論文は決して多く報告されているわけではありません。

2. 疫学研究に参加していただく対象患者さんの疫学研究期間

2010年1月から2017年8月の間に当院に搬送された65歳以上の外傷患者を対象とします。

研究期間は2018年1月～2018年12月とします。

3. 疫学研究の方法について

電子カルテと麻酔記録、画像所見を用いて調査します。来院時の画像所見から第3腰椎周囲の腸腰筋面積を画像検査ソフトから解析します。身長、体重から補正した腸腰筋面積の値と、入院期間合併症発生率、死亡率などとの関連性を検討します。また退院後の生存期間、退院後1年の時点での、食事・更衣などの基本的な生活活動状況（ADL: Activities of Daily Living）を後日アンケートの形で患者様本人、もしくはご家族に郵送でお答えいただきます。

4. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

なお、疫学研究の途中で同意を取り消された場合でも、現時点で考えられる最善の治療を行いますので、あなたにとって何ら不利益を受けることはありません。

お手数ですが、アンケート用紙・同回答用紙を提出して頂きたいと思います。

5. あなたの人權・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報

録しません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。施設内の個人情報管理者が、厳重に元データを保管・管理しております。ご心配な点がございましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

6.この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、診療録に記載された患者さんの情報を登録するものですので、患者さんへの危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

7.費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者さんの費用負担は、一切ありません。

しかし退院後の経過を調べさせて頂く上で、郵送でアンケートにお答え頂く必要があります。返信用はがきを添付しておりますので、内容を記載頂き郵送願います。

また郵送はがきでは詳細が把握しかねる場合には個別に電話させて頂く場合もございます。

8.この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことや、さらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

氏名; 西村 健 連絡先;078-241-3131